



カムリウミスズメ

門川町教育研究所

ふれあい

平成20年9月 NO4
発行 門川町教育研究所
所長 斉藤 義輝
TEL 63-1566
五十鈴小学校内(教育相談室)

2学期が始まりました！

2学期もはじまり、学校もにぎやかになってきました。きっとたくさんの夏休みの思い出ができたことだろうと思います。門川町教育研究所も夏休みの間に様々な研究活動を行いました。今回の「ふれあい」では夏休み期間中の研究活動の紹介や2学期に向けての生活チェック、前回に引き続き生活習慣と学力の関係についての情報を紹介したいと思います。

～夏休み中の研究所の活動～

研修視察

8月25日、26日、これからの研究活動をより充実し、知識や教養を深めるために、県外の教育研究所を視察しました。

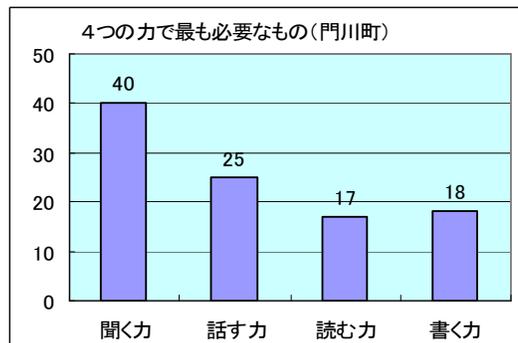
訪問場所は熊本県の玉名市教育研究所です。門川町教育研究所と関連する研究も行って、これからの研究に参考にしたい部分がたくさんありました。この視察で得たことを生かせるように、研究員も日々の研究に努めていきたいと思ひます。



アンケート調査

門川町内の先生方にご協力いただき、学習力を育てるために「聞く・話す・読む・書く」といった4つの基礎力の指導について、アンケートに答えていただきました。

この結果、門川町の先生方は、「聞く力を育てることが大切だ。」と考えていることが分かりました。学校と家庭が力を合わせて、子どもの聞く力を育てたいですね。



生活習慣・学習習慣は身に付いていますか？

学力向上には、基本的な生活習慣・学習習慣を身に付けることが大切です。下記のチェック項目でお子さんの家庭での様子を見直してみましょう。



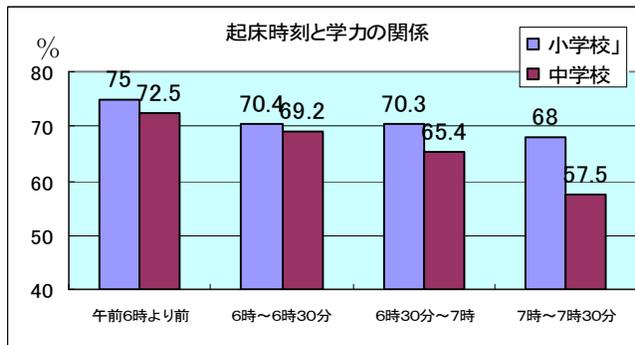
早起きをしている		学習時間を確保している	
朝食をきちんと食べている		テレビやゲームの時間が決まっている	
机のまわりの整理整頓ができています		好き嫌いをせずに食べている	
決まった場所で学習している		あいさつ、親子で会話をしている	
「ながら勉強」をしていない		決まった時間に早く寝ている	

門川の子どもの早起き・早寝・朝ご飯
 ～ だから早起き・早寝・朝ご飯をすすめよう ～
 パート I

平成19年度全国学力調査より



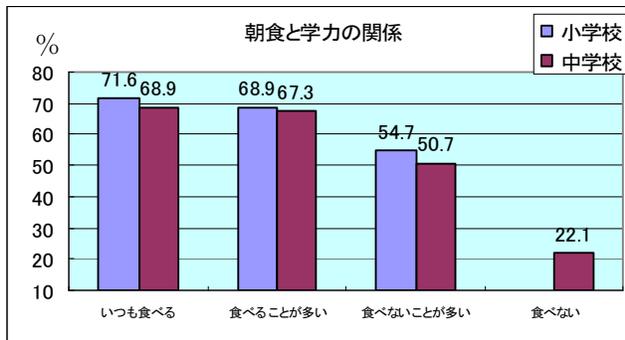
早起きの子どもほど学力が高い！



小・中学生とも、6時までに起床している子どもの学力が最も高くなっています。7時以降に起床する子どもと比べると、点数に大きな違いが出ています。特に、中学校では15点の差がついています。これは、早く起きることで「脳や体の準備ができる」、「ゆとりを持って食事や登校準備をすることができる」ことなどが原因ではないかと考えられます。



毎日朝食をしっかりと食べる子どもの学力は高い！



「朝食を食べること」と「学力」は、明らかに関係があることが分かります。「いつも食べる」と「食べるが多い」ではそれほど大差はありませんが、「食べないことが多い」「食べない」と比べると、大きな差があることが分かります。

この結果からも、早起きをして、しっかりと朝食を食べることの重要性がわかります。

教育研究所からのメッセージ

今回の「ふれあい」では、「早起き」、「朝ごはん」と「学力」についての関係を紹介しました。門川町では「早起き」「早寝」「朝ごはん」に力を入れています。上のとおり「早起き」や「朝ごはん」は「学力」にも大きな影響を与えているのです。2学期も始まったばかりです。もう一度、「早起き」「早寝」「朝ごはん」といった基本的な生活を見直してみてもいいですね。次号では「早寝」と「学力」の関係について紹介します。

友達のことやいじめなどで、悩んでいませんか？

困ったとき、迷ったときは、
 教育相談室に気軽に電話してください。

相談電話（門川町教育相談室）
 63-1566

~~~~返信欄（教育研究所便り「ふれあい」へのご意見や感想をお聞かせください。）~~~~